

尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第5号 (H25.1.29発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第2回「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました！

◆平成25年1月17日(木)に「第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を国土交通省尾原ダム管理支所で開催しました。

◆第2回委員会では、全委員の出席のもと

- 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念、地域の目標像、基本方針の報告
- 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案)の提案・審議
- 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案)の審議 など

について実施しました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンの「基本理念」、「地域の目標像」、「基本方針」が「さくらおろちを活性化する会」での議論を踏まえ、最終版が報告されました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンとして、55のプロジェクト(既存19件、新規36件)が承認されるとともに、『先行プロジェクト(1年目から実施)』として41件が承認され、2件が追加検討を依頼されました。さらに、先行プロジェクトの内容を記載するフォーマットも承認されました。

基本理念

斐伊川の源流をなす森や清流などの豊かな自然環境の恵み、魅力ある歴史文化などの地域資源、及び尾原ダム周辺の様々な施設等を、地域内・斐伊川流域圏の連携によって総合的に活用し、尾原ダム水源地域の自立的・持続的な発展を目指します。

地域の目標像

斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展

基本方針

- ◆水源地域を結び、拓く
- ◆流域圏の恵みの源を守り、育む
- ◆さくらおろちの魅力を磨き、活かす

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト
水源地域を結び、拓く 水源地域の多様な関係者の結びつきによって取組の体制を充実し、地域の自立的・持続的な発展を拓いていきます。	I. 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用、(1)-2 接客技術(おもてなしの心)の向上 (1)-3 教育機関(大学等)との連携
	II. 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携、(2)-2 リーダーの育成
	III. 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携(CSR活動)
	IV. 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援、(4)-2 上下流交流、(4)-3 流域圏交流
	V. 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、案内標識) (5)-2 フィルム・コミッションの推進
流域圏の恵みの源を守り、育む 斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育てていきます。	VI. 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動 (7) 河川の水質の保全 (8) 生物の生息環境の保全 (9) 環境学習会等の開催	(6)-1 森林の整備・管理、(6)-2 ボランティア活動の実施 (7)-1 水質の保全、(7)-2 ピオトープの整備 (8)-1 生息環境の保全(動物、植物)、(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催(森林、水質・水生生物、ホタル) (9)-2 体験プログラムの企画・開催(間伐・農業体験)
	VII. 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備 (11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用(7ホコレスト、のぼり) (10)-2 クズやカスラ等の対策・駆除、竹ボットの管理 (10)-3 ダム湖周辺の植栽(サクラ、ドウダンツツジ) (11)-1 農地保全の仕組みづくり、(11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー)
	VIII. 自然環境の活用	(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進(森林セラピー・森の保育園)
	IX. ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用 (14) サイクリング施設の活用 (15) さくらおろち湖の活用 (16) 既存施設等の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ、クレスト放流等) (13)-2 日本一プロジェクト (14)-1 サイクリングコースの活用・PR(認定コース、ショートコース) (14)-2 レンタサイクルの実施、(14)-3 サイクリングコースの改善 (15)-1 湖面利用の活性化(水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信、(15)-3 釣り利用(PR・大会・施設整備) (16)-1 芝生広場等の利用促進、(16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 ホースセラピーの利用促進、(16)-4 街道・登山道の活用(殿様街道、岩伏山) (16)-5 利用ルールの策定・周知(湖面利用の手引き等) (16)-6 新たな活用策の検討(星空観察会、ドックラン等) (16)-7 イベントの企画・立案(交流、花火等)
	X. 歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用 (18) 郷土料理の継承・活用 (19) 地域文化の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR(マップ作り、関連ツアー) (18)-1 郷土料理の継承・活用(黒豆飯、イナシ料理等)、(18)-2 モニターツアーの開催 (19)-1 古民家の活用
さくらおろちの魅力を磨き、活かす さくらおろち湖と水源地域が有する歴史、文化、自然などの資源を魅力として磨き、活かしていきます。	XI. 新たな魅力・資源の発掘	(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用 (21) 「地域全体」の発掘・活用 (22) 漁業資源の育成と活用 (23) 特産品の開発・販売	(20)-1 温泉の活用(スタンプラリー) (21)-1 観光資源の再整理、(21)-2 地域体感ツアーの開催 (22)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流) (23)-1 特産品の開発・販売促進
	XII. 交流イベント(既存)の開催	(24) 湖面イベントの開催 (25) 湖畔イベントの開催 (26) 周辺イベントの開催・継続	(24)-1 ボート大会の活性化 (25)-1 音楽イベントの開催、(25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催 (26)-1 そばうち交流会の開催、(26)-2 トレイルランニングの開催

※赤字：先行プロジェクト



▲策定委員会の様子

編集後記

2月初旬開催予定の「第4回さくらおろちを活性化する会」では、本委員会で承認された「先行プロジェクト」の内容(取組事項、実施主体、役割分担など)を議論する予定です。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課
・奥出雲町 地域振興課
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課

・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課



尾原ダムキャラクター「さくらのおくん」

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>